

令和 7 年度全国水生生物調査実施要領

1 趣旨

河川に生息するサワガニ、カワゲラ等の水生生物の生息状況は、水質汚濁の影響を反映することから、それらの水生生物を指標として、河川の水質を判定することができます。

このような調査は、一般の人にもわかりやすく、高価な機材等を要しないことから誰でも簡単に参加できるという利点があります。また、調査を通じて、身近な自然に接することにより、環境問題への関心を高める良い機会になると考えます。

このため、沖縄県は、本調査に参加される県民の方々に、調査に必要な器具を貸し出すことにより、本調査を支援します。

2 調査期間

令和 7 年 6 月 26 日 (木)～9 月 30 日 (火)

3 調査方法

調査の流れ (概要)

- (1) 調査への参加を申し込む。
(専用の申し込み用紙があります。)
↓
- (2) 調査方法に従って、調査をする。
(テキストを使用して調査して下さい。)
* 「実施要領 4 注意事項」も読んで下さい。
↓
- (3) 調査結果を報告する。
(報告する方法が 2 通りあります。いずれかの方法で報告して下さい。)

- (1) 調査への参加を申し込む。

* 「調査団体情報記入表 (令和 7 年度)」 (別紙 1) を使用して下さい。

「調査団体情報記入表 (令和 7 年度)」 (別紙 1) に必要事項を記入後、郵送、Fax 又は E-mail で、沖縄県環境保全課全国水生生物調査担当者あてに送付して下さい。

(送付先) あて名：沖縄県環境保全課 全国水生生物調査担当者あて
〒900-8570 那覇市泉崎 1-2-2
Fax: 098-866-2240
E-mail: aa038008@pref.okinawa.lg.jp

参加を申し込まれた方には、沖縄県独自の指標種等を用いたテキスト、『川の生きものを調べようー水生生物による水質の調査法ー』（沖縄県環境部）を送付いたします。

*どなたでも参加できますが、必ず指定された方法で、調査結果を報告して下さい。

(2) 調査方法に従って、調査をする。

*テキスト『川の生きものを調べようー水生生物による水質の調査法ー』（沖縄県環境部）を使用して下さい。

まずはじめに、調べたい身近な川や水路を選びます。

テキストに基づき実施します。(調査地点は、水深が 30cm 位の場所で行います。)

水難事故防止のために、細心の注意を払って、調査を行って下さい。(別紙3を読んで下さい。)

(3) 調査結果を報告する。

*調査結果は、①インターネットを利用した「調査支援システム」を使用して報告する場合、②使用しないで報告する場合のいずれかの方法で、結果を報告して下さい。
なお、指標生物が確認できなかった場合も報告して下さい。

「調査支援システム」とは、水生生物調査支援情報システムのことです。

※報告された結果は、環境省の水生生物調査のホームページに掲載されます。

① 「調査支援システム」を使用して報告する場合

調査者が直接、システムへ結果を入力します。

報告期限：令和7年10月31日(金)

② 「調査支援システム」を使用しないで報告する場合

全国水生生物調査結果 集計用紙(別紙2)に調査結果を記入後、郵送、Fax 又は E-mail で、沖縄県環境保全課全国水生生物調査担当者あてに送付して下さい。

報告期限：令和7年11月14日(金)

(送付先) あて名：沖縄県環境保全課 全国水生生物調査担当者あて
〒900-8570 那覇市泉崎1-2-2
Fax:098-866-2240
E-mail:aa038008@pref.okinawa.lg.jp

(4) 調査に必要な道具

① テキスト『川の生きものを調べようー水生生物による水質の調査法ー』（沖縄県環境部）

② 「全国水生生物調査結果 集計用紙」(別紙2)

③ えんぴつ

④ 虫眼鏡

- ⑤ 網
- ⑥ スポイトまたはピンセット
- ⑦ 透明なカップ（採取した水生生物を入れる）
- ⑧ 白いバット（発砲スチロール容器のフタでも代用可能）
- ⑨ バケツ
- ⑩ 温度計（水温をはかる）
- ⑪ 時計（調査した時間、川の流れの速さを調べる）

(5) 調査の支援

沖縄県環境保全課では、調査に必要な道具を貸し出しています。貸し出しを希望される方は、県環境保全課全国水生生物調査担当者までご連絡下さい。
 （貸し出しする各道具には、数に限りがあるため、ご希望に添えない場合がありますので、ご了承ください。）

(連絡先) 沖縄県環境保全課 全国水生生物調査担当者あて
 Tel:098-866-2236
 E-mail:aa038008@pref.okinawa.lg.jp

貸し出す道具

虫眼鏡、網、スポイト、ピンセット、透明なカップ、バット、温度計
 調査に必要な道具の数の目安

道具の名前	3人1組で調査を行う場合	5人1組で調査を行う場合
虫眼鏡	1	2
網	2	2
スポイト	2	3
透明なカップ	2	2
バット	1	1

4 注意事項

- (1) 参加者は、危険防止のため、適切な指導者の確保、調査地点の選定等について十分に配慮して下さい。詳細については、別紙3、4を参照して下さい。
- (2) 参加者は、必要に応じて、傷害保険等の加入をして下さい。
- (3) レプトスピラ症の感染予防のため、擦り傷や切り傷がある場合は川に入るのを控えてください。また、体に傷をつくらぬよう適切な服装を心がけて下さい。
- (4) アメリカザリガニは、令和5年6月から外来生物法に基づく「条件付特定外来生物」に指定され、野外への放出等が規制されています。一度持ち帰ってから外に

放すことなどは違法となるおそれがありますので、ご注意ください。なお、調査の際にその場で直ちに放すことは問題ないとされています。

5 備考

(1) ホームページアドレス

① 環境省 全国水生生物調査のページ

<https://water-pub.env.go.jp/water-pub/mizu-site/mizu/suisei/>

② 沖縄県 環境保全課 全国水生生物調査

http://www.pref.okinawa.jp/site/kankyo/hozen/mizu_tsuchi/water/aquatic_life.html